

晴耕雨読 73

発行：株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・地質調査 解析・測量全般・
補償コンサルタント登録
〒869-1234
熊本県菊池郡大津町引水 215-1 (技術研究所)
本社：熊本市 / 八代支店 / 合志営業所
TEL：096-293-4400/FAX：096-293-4885
E-mail：kenpro@muc.biglobe.ne.jp

Vol.73 MAY 2024 seikouudoku

新緑に心地よい風を感じられる季節となりました。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？



御大師堂(おだいしどう)

町指定重要文化財御大師堂。熊本県湯前町にあり、記録によると、江戸時代には吉祥院の一堂であった様です。右のスケッチ図の下側には神聖な梵字が刻まれていました。h/n



春風に泳ぐこいのぼり

鯉のぼりが優雅に泳ぐ風景を身近で感じる事が少なくなったなあ〜と社内で話していた時、娘から送られてきた、とある日のLINE。校内に手作りの鯉のぼりが泳ぐ姿を文章無しで送ってきました(笑)時代が変わり、社会が進化しグローバル化が進んでも自国の伝統や文化を伝えることができる節句の大切さを改めて感じました。t/b



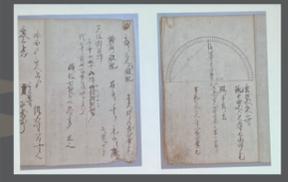
鳥

熊本土木文化研究会 令和5年12月に活動スタート



■郷土會所(大津町引水)

交流の場が少なかった関係各分野の研究者や学びを求める地域住民らに参加し、情報交換することを目的に年に数回勉強会を行っています。今回は壺台橋架設と茂見半右衛門の測量術について学びを深めることが出来ました。上記写真は、



「鳥語花香」(ちょうごかこう)鳥の鳴く声と花の香り。春ののどかな情景を表した四字熟語です。新緑が芽吹き、野山へ足を運ぶには良い季節ですね♪♪

身近な暮らしへの思い(～冬を楽しむ編～)

Familiar Life



雲龍台からの絶景！
一謎の鯨岩(くじらいわ)

三角岳山開き to くじら岩

2月に三角岳の山開きへ参加しました。当日は朝9時頃まで雨が降り、イベントは中止となりましたが、天気は回復傾向であったため登山スタート。竹林を進み山頂付近に近づく、くじら岩と呼ばれる岩を発見。本当にあるんだなあと思ひながら、経緯を調べましたが、なぜこんな所にあるのか詳細は分らず…(左写真)。どのたかご存じの方教えて下さい!!下山道中は、雲龍台からの景色が最高すぎました(〇) t/b

入社のご挨拶

八代市生れ。東京のインフラ整備事業に暫く携わり故郷に戻りました。熊本には干拓、石橋群等が多数あり、地域の振興に思いを馳せ尽力された先輩が沢山いらっしゃいます。貴重な文化遺産の継承等、九州・熊本を楽しみながら取り組みたいと思います。m/s



カヅイチゴ

タチツボスミレ

キスミレ

サツマイナモリ

国指定重要文化財【江藤家住宅】

本県大津町にある国指定重要文化財「江藤家住宅」は、大津町に点在する在御家人住宅の代表的遺構です。驚きなのは、現在も居住されているという事。平成28年の熊本地震で倒壊し、約8年の月日をかけて復旧が完了したタイミングで見学する機会がありました。文化財の復旧では現状の機能を損なわずに景観を大きく変化させないことが重要であり、実際に筋交いをして構造補強している部分を見えない様工夫されている箇所の話を知ることができました。民家としての役割と文化財としての価値を感じることが出来ました。r/k



主屋(炊事場天井)

主屋正面

自然への誘い 高森町草部

高森町の釣堀センターでみた風景です(左写真)。川側に水平に伸びた樹木にコケが生え、美しい緑を演出しています。心が癒されました。h/n

花

身近な環境への思い(海・山・自然・食に触れる)

Living Environment

藤の花

会社の玄関口には、新年度を飾る藤の花垣が満開です。近年元気がないと思っていたら、害虫が潜んでいました。見た目には気づき難いですが、被害を受けた花房には真珠のような球状のツボミが発生し開花しないで落下します。対策は虫害を受けた蕾を取り除き焼却したり消毒が必要です。a/t



フジ

春の小川を洗う

砂取おやじの会のメンバーで、「神水ホタルの里」の整備作業に参加しました。上江津湖湧水群の帯では、5月にはたくさんのホタルがみられます。これも地域の皆さんの支えがあってこそ、豊かな湧水とともに大事にしたいものです。a/t



つばめの子育て

燕は巣づくりから子どもの成長までを身近で見せてくれる鳥として、人に愛され大切にされています。4月に入り駆通路の屋根にいくつも巣ができていました。壊れて下に落ちてしまった巣もありますが、駅員さんでしょうか？落ちないように支えています。人の出入りが頻繁なところはツバメにとって安心できる場所なのかもしれませんね。i/o



語

ツバメの巣(補強あり)

花筏(梅)



今年も桜を見ることができました。北海道では5月に入りようやく桜が咲きはじめたとのニュースを耳にしました。以前、花筏(はないかだ)のスケッチを紹介しましたが、気分を変えて梅を紹介します。電子の網ですくってみると、梅の花筏や花筏梅あるいは、紅梅の花筏などと使われているようです。m/t



■産山村

産山村の美しい石橋

熊本県の北東部、石尾野地区に大正12年(1923年)創建の美しい石橋があります。橋名は石尾野橋。橋長17.6m幅4.6m、石工は野田寅蔵氏で村の指定文化財。同橋の構造的特徴は、軸石垣とアーチとのバランスです。h/n

身近な土木文化への思い(暮らしを支える風景)

Civil Engineering

谷を跨ぐ大橋を診る



■小国町

熊本県北東部に架設された長大橋の点検を実施しました。山間を抜ける広域農道には、旧農用地整備公団等から移管された橋長100mを超える長大橋が複数あり、橋梁の構造もローゼ橋、ニールセンローゼ橋、コンクリート箱桁橋、鋼桁橋等が見られる県内でも珍しい地域です。路線沿いには高台から山々を見渡せる展望スポットや飲食店、温泉施設があり、景色を楽しみながら移動できるドライブコースにもなっています。k/s

球磨川の10橋復旧だより(その4)



令和2年7月豪雨で流出した球磨川橋梁10橋は、すでに工事完了している西瀬橋を除き、9橋においてR6.4月現在、下部工の施工坂本橋、鎌瀬橋、大瀬橋、松本橋、沖鶴橋の5橋では上部工の製作が始まっています。坂本橋は、鋼2径間連続トラス橋で、4月16日に、右岸側径間より上部工架設が開始されました。n/s

石橋安定性の肝!!

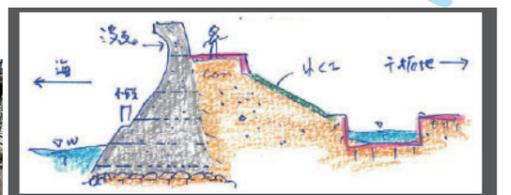
湯前町指定文化財の下町橋の工事監理に関わっています。現存する石橋の多くは中詰め材に土砂が多く使用されており、橋面からの漏水による吸出し作用によって壁石のハミ等の要因になります。下町橋は右写真のような中詰め材に隙間がないように固定した仕上げです。施工は石橋工事のベテランと2人のスリランカ人。石橋の安定に中詰め材が大きく左右します。k/n



■湯前町

八代海沿岸の高潮被害を守る施設

平成11年9月に発生した台風19号の高潮災害により、八代市鏡町周辺では海水が河川を逆流し流れ込んだため家屋や田畑の浸水被害が発生しました。これらの被害を受けて海岸堤防・護岸整備が行われ、老朽化した海岸施設の補修対策が必要となっています。また、海岸沿いには恵比寿地蔵が祀られており、地域住民の安全・安心と過去災害の教訓を忘れないように祈願されているように感じました。今後も行政と住民が一体となった土木事業の取組みが重要と考えます。t/m



香



■野崎海岸

早いもので、R6年がスタートし、3分の1が経ちました。4月には熊本でも少しピクッとしてしまうような地震があり、改めて防災グッズを見直す良いきっかけになりました。今年度の私のテーマは「小さな事でもコツコツとやる」です。既に5月に入りましたが、改めて決意を…(^^) 馬場